

重点事業編

4 計画事業

基本目標 1 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ < 8 件 >

意見の概要	市の考え方
<p>『(仮称)就業サポートセンター事業』 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者に障がいのある人を含め、障害者就業・生活支援センターや札幌市障がい者 IT サポートセンターとの連携を行い、情報の共有と企業とのパイプづくりを行うべき。 女性が働きやすい環境づくりが急がれる。札幌サンプラザ内に、子どもの一時預かり機能と就労相談時の保育ルームを設置してほしい。 就業サポートやグループで起業のノウハウを学ぶため、パソコンなど必要な機能を備えたセミナールームを設置してほしい。 	<p>障がいのある人を対象とした就業支援については、ハローワークにおいて専門の求人開拓推進員を配置して求人情報を収集するとともに、専門の窓口(みどりのコーナー)を設置して個人の状況に応じた職業相談や職業紹介、就職後は、職場への定着指導などを専門的に行っています。</p> <p>16 年秋に開設する(仮称)札幌市就業サポートセンターにおいては、女性と中高年齢者を主な対象として、官民共同窓口による無料職業紹介事業(16 年 6 月 21 日構造改革特区認定)と関連事業による就職支援サービスの提供を予定しており、当面のところ障がいのある人に特化した就業支援を行う予定はありませんが、札幌市としましては、障がいのある人の就業支援について、「障害者雇用促進会」(国と共催)の開催や北海道障害者雇用促進協会が発行する「障害者求職情報」への財政支援など、今後とも国などの関係機関と連携しながら進めていきます。</p> <p>札幌サンプラザ内の保育ルームについては、場の確保、対応体制、ニーズなどを総合的に勘案して、今後、検討していきたいと考えています。</p> <p>また、(仮称)札幌市就業サポートセンターにおいては、官民共同窓口による無料職業紹介事業(特区事業)のほか、再就職を目指す女性の再就職支援事業や起業家講座などを予定していますが、このうち、女性の再就職支援事業では、男女共同参画センターとの連携により、同センターのパソコン教室を活用することも予定しており、それぞれのセミナーの中で必要に応じてパソコン活用の時間を設けるなど工夫して実施したいと考えています。</p>
<p>『IT を活用した障がい者在宅就労支援事業』 1 件</p> <ul style="list-style-type: none"> この事業で設置される検討会議では、行政が果たすべき役割についてしっかりと議論してほしい。特に、障がいのある人が仕事に就くことにより創り出される価値(社会的効果)を評価する視点に立って、行政の業務発注のあり方について検討することが必要。 	<p>この事業において設置を予定している障がいのある人の IT を活用した在宅就労支援に係る検討会議においては、行政の果たすべき役割を含め、ご意見の趣旨を十分踏まえたうえで、効果的な支援のあり方について検討を進めていきます。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>『雇用創出型ニュービジネス立地促進事業』 1件</p> <p>・障がいのある人の新しい就労機会の創出のために、障がいのある人の在宅型コールセンターに積極的な企業への優遇策や積極的な誘致策を検討すべき。そして、関連事項として、在宅勤務者として特定の資格保有を条件とする場合は、それに対応する講習への支援策の検討が必要。</p>	<p>札幌市は、経済の活性化や雇用の拡大を図るため、ITや金融の技術や知識に関する顧客サービスを行うコールセンターを積極的に誘致しており、計画にも盛り込んでいるところですが、誘致したコールセンターの中には、在宅型を導入したり、障がいのある人を雇用したり、また障がいのある人の雇用を検討しているところもあります。今後、障がいのある人を受け入れる在宅型コールセンターの誘致や立地済のコールセンター企業に対する障がいのある人のさらなる雇用増進を働きかけていきたいと考えています。</p>
<p>『丘珠空港整備と空港周辺のまちづくり事業』 2件</p> <p>・丘珠空港整備事業は2004年3月で全て終了し緩衝緑地帯の整備事業へ着手すると札幌市から説明を受けていた。丘珠空港周辺の整備は空港緑化整備事業のみとして、計画案37ページの「道内各市町村と連携した魅力の発掘・アピール」の項目からは事業を削除すべき。 (類似意見1件)</p>	<p>丘珠空港は、道内航空網の拠点空港として、道都札幌と道内各地域との経済・文化・観光などのさまざまな交流活動を支える重要な役割を果たしており、今後も、その機能保持のための空港整備が必要と考えています。</p>
<p>『デジタルコンテンツビジネスの振興による芸術文化産業の創造』など 1件</p> <p>・デジタルコンテンツビジネスの振興策の検討においては、今後、需要の増大が見込まれる字幕制作ビジネスの振興、ホームページのユニバーサルデザインビジネスの振興を検討項目として設定すべき。</p> <p>「さっぽろフィルムコミッション事業」や「国内観光プロモーション」などの映像制作においても字幕付与は有効と考える。</p> <p>「(仮称)視聴覚障害者情報文化センターの整備」や「聴覚障がい者用字幕(手話)入りビデオカセット自主製作・貸出事業」においても字幕製作は重要な要素である。</p>	<p>映像、音楽、アニメーションなどのデジタルコンテンツは、障がいのある人や高齢者はもちろんのこと、外国人、子どもなど幅広い人々に発信伝達することでその価値を発揮するものと考えています。</p> <p>そのためには、マルチリンガル(多言語化)やユニバーサルデザインをはじめとする多様な情報伝達手段の確立は当然に考慮されることであり、これらを別項目とするのではなく、作り手の育成を含めたデジタルコンテンツビジネス振興の中で一体的に検討していきたいと考えています。</p> <p>「国内観光プロモーション事業」について、PR手段として新たな映像の制作予定は今のところありませんが、使用目的や対象を勘案しながら、今後の制作に当たってはご意見の趣旨を踏まえたいと考えています。</p> <p>「札幌フィルムコミッション事業」では、ロケ誘致のために映像制作者向けのPR映像素材の作成などを予定していますが、ご意見の趣旨を踏まえたいと考えています。</p> <p>(仮称)視聴覚障害者情報文化センターで実施を予定している「聴覚障がい者用字幕(手話)入りビデオカセット自主製作・貸出事業」については、聴覚障がいの当事者団体を含めた民間関連団体との協働により効果的に進めていきたいと考えています。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>『狸小路の活性化』 1件</p> <p>・狸小路を「タペモノ街」として売出してはどうか。例えば狸小路7～8丁目の空地を世界の料理を出す「タペモノ街」とすることにより札幌市の観光スポットとしてアピールする。これにより1～2丁目にも人が流れるようになるはず。</p>	<p>ご意見については、地元の方々にも提案させていただき、狸小路の活性化策の一つとして参考としたいと考えています。</p>